

令和4年度 第2回平田地域協議会会議録（要約）

日時	令和4年6月23日（木）午後1時30分～午後3時40分			
場所	ひらたタウンセンター 集会室			
出席委員	14名			
	1号委員	石井 光一	佐藤 美恵	高橋 宗一
		池田 公夫	佐藤 善仁	前田 恵次
		今井さち子	丸山 清	枝 春男
		加藤佐和子		
	2号委員	石黒 由香	佐藤 正一	須田 祐司
		古川麻衣子		
欠席委員	1名			
	1号委員	田中井広志		
酒田市出席者	平田総合支所長			佐藤まゆみ
	平田総合支所長補佐兼建設係長			佐々木 豪
	平田総合支所長補佐兼産業係長			進藤 貴
	平田総合支所長補佐兼地域振興係長			高橋 美津
	平田総合支所長地域振興主査			阿部 光正
	平田総合支所長地域振興主査			鈴木 陽子
	平田総合支所地域振興係主任			渡部 知也
	平田総合支所地域振興係主事			阿蘇いづみ
傍聴者	なし			
議事日程	1. 開会			
	2. あいさつ			
	3. 会議録署名委員の選任			
	4. 協議			
	(1) 交流人口の拡大について			
	①各種イベントについて			
	②ひらた生涯学習センターについて			
	(2) その他			
	5. その他			
	6. 閉会			

【協議会の概要】

令和3年度市長報告会の際に提案した「交流人口の拡大」に向け、「各種イベントについて」と「ひらた生涯学習センターについて」という二つのテーマに沿って意見交換をした。意見交換後、今後さらに掘り下げて話し合っていく必要のあるものについて整理して次回の地域協議会に繋ぐこととした。また、今年度第4回地域協議会の開催時期を令和4年9月上旬に変更することとした。

【会議録（要約）】

1. 開会

- ▶事務局より開会と委員1名欠席の報告

2. あいさつ

- ▶石黒由香会長あいさつ
- ▶佐藤支所長あいさつ

3. 会議録署名委員の選任

- ▶会議録署名委員は、名簿の順番に指名することとし、前田恵次委員を指名した。

4. 協議

(1) 交流人口の拡大について

- ▶石黒由香会長が、経過について説明した。
 - ①各種イベントについて
- ▶地域振興係各担当職員が、資料にて説明した。
 - ②ひらた生涯学習センターについて
- ▶高橋支所長補佐が、資料にて説明した。

※①②ともに質疑は特に無し。

説明後、出席委員が2グループに分かれて「各種イベントについて」と「ひらた生涯学習センターについて」の意見交換を行い、次回の地域協議会でさらに協議することとした。

(2) その他

- ▶次回の地域協議会開催日程について
7月28日（木）午後1時30分～に決定
- ▶第4回地域協議会開催時期について
9月上旬に決定

5. その他

○佐藤正一委員

デマンドタクシーをもっと使いやすくするための提案をする人がいた。民間業者と連携した組合を作り、7時～23時の間30分毎に酒田市内との往復運行する7～8人乗りの簡易タクシーで、何万円か支払うと年間乗り放題になるようなものが出来ればとのことだった。こういったことが可能になれば、高齢者が運転免許を返納しても行動範囲が狭くならずうまく立ち回れるようになるのではないかとのことだった。いろいろな規制もあり簡単にはいかないかもしれないが、これが可能になれば昔のように住みやすいまちに繋がるのではないかとのことだった。

○佐藤支所長

8月1日から新しく始まるデマンドタクシーだが、自宅から酒田に行く時間や酒田から自宅に戻る時間が決まっているので不便さも伴うと思っている。ただ、タクシー同様自宅から行って自宅に戻るという利便性もある。今回、このデマンドタクシーの仕組みを作る上でもハイヤー協会との通常のハイヤーの営業を邪魔しないという約束のもとにある制度であることから、そう簡単に仕組みを変えることはまだ難しいという話も聞いている。ただ、こういった声が大きくなり、地域事情がもっともっと出てくれば、もしかしたら将来的にはできるかもしれないと今のお話を聞いて思った。参考意見としてとても良い意見だと思ったので担当課にも伝えたい。

○佐藤正一委員

そう簡単にできるものではないと本人も思っているようだったが、あまり行動範囲が狭くならないようにするための地域課題を議論するに値することではないかとのことだった。

○佐藤支所長

その通りだと思う。地域の方の足になる訳なので、ここに長く暮らしていけるような仕組みと

しての公共交通の形を考えていくのも地域協議会の役割であると思う。例えば、少しデマンドの制度が動き始めて、来年度改める必要のあることについて話し合うのもいいのかもしれない。

○石黒会長

私もこういう意見はすごく大事だと思う。デマンドが動き始めてから今日の意見が皆さんの頭の片隅に残っていたならば、「そういえばこういう提案もあったなあ。どう思う？」と周りに問い掛けてみて「いいね」と言う声が集まればここに議題として載る日もくると思うので、少し頭の隅に残しておいていただければと思う。

○佐藤支所長

そのためにもやはり一度デマンドを利用して、体験してみるというのも非常にいいのかなと思う。酒田に行くときに一回使ってみて、帰り何時でどこから乗ったら用事を済ませて帰られるか。意外とお年寄りの方だと、一回の用事を済ませてしまうと次まで長いし、二個所の用事を済ますとなると市内での移動のことも出てくるし、帰りまでの待ち時間が長くなるし、考えただけでも不便だという話もあるので。時間帯の関係や乗り場所のこと等いろいろ出てくると思うので、是非登録をして一度二度使ってみて頂ければと思う。

○前田恵次委員

今年から非常放送が変わったが、中山間の地域ではほとんどハーバーラジオが入らない状態である。防災ラジオを返却したい。聞こえないラジオを置いていても仕方ないので何とかしてほしい。

○佐藤支所長

たいへん皆さんにご迷惑をおかけしている。中継局の関係で、やはり入らないところが平田は多いということのようだ。以前使用していた外部アンテナに繋ぐという方法もあるようだったので、今、自治会長の方にそれぞれどの程度入るのか、そのアンテナを繋いだらどうかを調査している。

○前田恵次委員

外部アンテナはすべて回収に出してしまっているので、もう無くなっている。非常放送で緊急を要するのだから、空白期間があってはならないはず。導入する前に全地域の電波の状態を調べてから導入すべきだったのではないか。行政としておかしいのではないか。

○佐藤支所長

自治会長会からもそういった話を聞かせてもらっている。何たる制度だという事で、やっと危機管理が動いて、電波の状況だとかそういったところを今、調査している。災害時のものなので、いつまでもこのままで良い訳ではないと思っている。危機管理にまた伝えておく。

6. 閉 会

▶丸山清副会長閉会